



F u - Z i n

第42号

平成28年4月発行



報告

第35回NPO博多の風フォーラム
「みんながまもろう博多の町」



報告 第15回
あつまれ楽文コンテスト表彰式

告知 第15回博多のおいしゃんと歩こう
追い山笠コース探訪 6月4日開催(予定)

近年の活動

※設立からの詳細はホームページをご参照ください
<http://hakanokaze.jp>

平成26年

- 4月 第32回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:大庭 宗一氏(NPO博多の風 理事長)
- 6月 第13回 追山コース探訪 開催
第14回 楽文コンテスト 開催
- 11月 第33回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:八木 繁氏
(九州電力株式会社 原子カコミュニケーション本部部长)

平成27年

- 4月 第34回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:因幡 敏幸氏(春日大野城那珂川消防本部)
- 6月 第14回 追山コース探訪 開催
第15回 楽文コンテスト 開催
- 11月 第35回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:戸谷 弘一氏
(福岡県警察生活安全部 参事官兼
生活安全総務課長 警視)

NPO特定非営利活動法人



〒812-0027
福岡市博多区下川端町8-16 -302
FAX 092-263-7188

E-Mail info@hakanokaze.jp
URL <http://hakanokaze.jp>

NPO博多の風の歩み

- 設立
平成10年 9月
任意団体『博多の風』設立 代表:大庭宗一
- NPO登記
平成12年 6月
『NPO博多の風』として登記 理事長:大庭宗一

NPO博多の風事業概要

- 啓発事業
 - ・博多の風フォーラム開催
 - ・広報誌・HP発行
 - ・毎日新聞世論フォーラム公聴
 - ・作文コンクール(楽文コンテスト)開催
- 地域環境向上事業
 - ・博多の町親交
(清掃活動・クリーン作戦・冷泉小学校跡地提言・山笠文化継承)
- 活性化事業
 - ・書籍出版
 - ・博多祇園山笠の振興
 - ・追山コース探訪開催
- 協力事業
 - ・各市民団体との情報交換及び支援

題字:新井光守



みんなでも守ろう博多の町

去る平成27年11月14日、第35回NPO博多の風フォーラムが福岡市立博多小学校「表現の舞台」にて開催されました。今回は福岡県警察本部 生活安全部の戸谷弘一警視に「登壇いただき「みんなでも守ろう博多の町」と題し、今や社会問題となっている性犯罪・二七電話詐欺について、福岡県での実態とその防止策をお話しいただきました。



戸谷 弘一 (とたに ひろかず)
福岡県警察生活安全部 参事官
兼生活安全総務課長 警視
主に生活安全部門で勤務。警視庁生活安全企画課、博多警察署生活安全管理官、柳川警察署長などの勤務を経て現職。二七電話詐欺や性犯罪の抑止対策など犯罪の未然防止を担当。

■急増する性犯罪と二七電話詐欺

福岡県警察本部の生活安全総務課で課長をしております戸谷と申します。私は「生活安全」という名前からも分かるように「犯罪を防ぐ」ということを任務としておりまして「犯罪が起こってから捕まえる」というのも大事な面で、起ささない」といった視点で仕事をしております。

今日は「みんなでも守ろう博多の町」ということで、特に福岡で多くなっている「二七電話詐欺」と「性犯罪」についてぜひ皆様に現状を知っていただいた上で、皆さん方自身、そして家族を含めて犯罪の被害に遭わないように、ここでちょっと考えていただければと思います。私は見た目は単なるオッサンですが、組織の中ではそここの地位におります(笑)。ただ皆さんには軽い気持ちで聴いていただければと思います。

■福岡での「性犯罪」の実態

まずは「性犯罪」です。性犯罪は私たちの定義の中では「強姦」と「強制わいせつ」のことを言っています。福岡県での全ての犯罪が一番多かったと言われる平成14年、それから年々総犯罪件数自体は減ってきています。ところがそれに占める性犯罪の件数自体はほぼ変わっていません。平成26年は499件の性犯罪が発生しています。この499件というのは、あくまで強姦と強制わいせつだけであって、その前兆事案と言われる「ちよっと通りすがりにお尻を触る」とか「電車の中で胸を触る」といった福岡県迷惑防止条例の中に挙げられているもの、また公然わいせつ等は含まれていないんですね。強姦と強制わいせつだけで499件もあり、もった大きな意味での性犯罪、もしくはそれに繋がるような犯罪は福岡では非常に多く発生しているということなんです。そして全国で人口に占める性犯

罪の発生率を見ると大阪に次いで2位なんです。この2年連続しています。それだけ福岡というのには性犯罪が多いということ、皆さんに覚えておいていただきたいと思っています。今年平成27年も10月末までにすでに497件、昨年の499件とすでにほぼ同数、確実に去年の件数よりも増えるのは間違いない状況です。そして、性犯罪被害者を年齢と職業別で見ますと、16歳から22歳の若い方が全体の47%を占めており、高校生や大学生といった方達が非常に狙われています。昨年起きた性犯罪の事例を挙げてみますと、手口もいろいろですし、時間帯もバラバラです。ただ深夜から早朝にかけて発生している分については全て「無施錠」なんです。寝ている時に鍵を掛けないでいることがどれだけ危ないか、寝なくとも家に帰ってきたらしっかりと鍵を掛けていただくということが非常に大事になって

きます。

■性犯罪の発生を抑えるために

では、こういった性犯罪を防ぐためにどうすればいいか？そのキーワードが「5K」です。

1つ目は警察の主幹業務になるわけですが「検挙」です。「予防捜査の推進」つまり「監視力の強化」ですね。捕まえることによって防ぐことができます、ということ。最近では「新三種の神器」と呼ばれているものの登場で犯罪捜査が非常に高度化されています。1つ目は「防犯カメラ」、2つ目は「DNA」、3つ目は「ビッグデータ」、つまりデータの積み重ねで、この3つが大きな武器になっていきます。DNAの採取も最近非常に高度化されていますし、精度もはっきりしていますので、昔の指紋採取と同じように非常に役に立ってきています。2つ目は「規制」すなわち「法整備」です。当然、強姦や強制わいせつは刑法で罰せ

られるわけですが、その前に「犯罪を防止しなければいけない」という視点からの法整備があります。例えば福岡県では「安全・安心まちづくり条例」が策定されましたし、「魂の殺人」と呼ばれている強姦についても、現状強盗よりも刑が軽いんですが、殺人と同じくらい悪いんじゃないかということで強姦についても厳罰化が検討されています。

3つ目は「協働」、地域との連携です。防犯ボランティアの方や自分たちの街を自分たちでしっかり守っていくという意識の高い方々がしっかりと街を守っていくということも大事になってくると思います。

4つ目は「教育」ということで「防犯教育の推進」です。県警では特に高校生や大学生を中心として、自分を守る「SELF-DEFENSE EDUCATION(SD)」をすすめています。最終的には自分のことは自分自身で守っていかなければなら

ない、そういった防犯力や抵抗力を高めるための教育に力を入れていくことであります。

最後は「環境」です。具体的には「防犯カメラ」などの防犯環境の整備があります。福岡での街頭防犯カメラは1603台あり、これ以外にもコンビニだとか金融機関・団地などで設置されていて、防犯カメラの有用性が認められてきています。それによって犯罪の抑止にもなりますし、万が一犯罪が起こった時にいち早く検挙することができま

■重要なのは「具体的な声かけ」

何回も繰り返しますが今年平成27年は10月の時点ですでに497件も性犯罪が発生しています。これだけ福岡では性犯罪が多いんです！この性犯罪の発生パターンをまとめると、「夕方6時から深夜」に「駅の周辺」で「道路上で背後から襲われる」とが多くなっています。ですから逆にこれをいかなる形で防いでいくために、先ほど言った「自分で守る」ということも

そうなんですけれども、うちの優秀なスタッフが考えてくれた「持ち歩き暗い夜道の警戒心振り向いて！振り向いて！もう一度振り向いて！」というキャッチコピーを今日お越し頂いた女性の方は

もちろん、男性の方も覚えていただければと思います。そしてぜひ、暗い夜道を歩く時は警戒をされているんだということをしつかり表に態度として出すように家族の方に具体的に教えてあげてください。例えば夜遅い時間に娘さんが帰ってくるのでしたら「気を付けて帰ってきてね」ではなくかなか伝わらないんです。ぜひ声を掛ける時には「外に出たら1回、2回と必ず振り向いて帰ってきてね」というふうに具体的に教えてあげると、具体的に気をつけてねということを通じてあげると、いうことをぜひお願いしたいと思います。

■私たちにできることは？

夜道から自分の身を守るための防犯のポイントとして「あ・ぶ・な・い」というキーワードがあります。「あかるい道を通して2人以上で帰る」、「ブザーを手を持ち防犯対策」、「ながら歩きは絶対しない」、「いつでも周囲を警戒する！」……このポイントを踏まえて夜道を歩く時には気をつけていただきたい。何回も言いますが、女性の方は当然これを守っていただきたいです。子どもといった周りの人達に教えていただいて、性犯罪に遭わないようにしっかりと自己防衛をやっていたいただきたい

と思います。

すけれども、まず「見て見ぬふりをしない」。自分にできることから始めていこうということ、自分の身は自分で守るのとは別に、そういった痴漢などが夜道で起こらないようにするにはその環境をしつかり整えないといけません。犯罪の起きにくい環境づくり：簡単です。街をみんなできれいにしていただければいいんです。1つの例になりますが、例えば自転車泥棒も、きれいに自転車並べられて

いるところから盗まれるというのには意外と少ないんです。乱雑に置かれている、バラバラに置かれているという管理されていないことが見えるような自転車置き場のほうが、やはり盗まれます。それと一緒に、きれいな街ではやはり犯罪は起こりにくいです。しっかりと皆さん、掃除するだけでも防犯対策になりますので、ぜひ街をきれいにしていただくというのを実践していただきたいと思

います。で、万が一にも犯罪被害に遭われた場合、福岡県には「福岡県犯罪被害者支援センター」というところがあります。決して一人で悩まずに、110番をしていただくのももちろんなんですが、警察に言う前に悩むようなことがあればぜひこのセンターにご連絡をお願いできればと思

っております。

■増加一方の「二七電話詐欺」

次にもう一つ多いのが「二七電話詐欺」です。皆さんもご存知の通り、社会問題化するくらい非常に多くなっています。県警としても「二七電話気づかせ隊」というのを始動させて、二七電話詐欺対策に非常に力を入れているところがあります。「二七電話詐欺」とは要するに「電話を使っただけで犯罪」を言います。今年平成27年の10月末時点ですでに405件、前年の倍です。被害額も16億1560万円、前年に比べて6億5000万円も増えています。だいたい1日にすると500万から800万円ぐらいがそういった悪い連中

のところに渡ってしまっているということになります。これは絶対に防いでいかないとけません。毎年、件数や被害金額が増えているわけですが、なぜここまで増えているのか？確かに件数は東京や大阪のほうが福岡より多いんです。ただ、伸び率で見ると福岡がトップクラスになってしまっています。この増えている原因として首都圏で取り締まりが強まって福岡など地方都市に手が伸びてきたこと、そして福岡は交通の便が良いのでお金を直接空港などに持つてこさせることができる、といったことが挙げられます。また福岡県には富裕層が多いというのも原因の1つとして考えられます。ある1



大庭宗一理事長が福岡市市民公益活動推進審議会に委員として参画しています。

福岡市では、より多くの市民の参加・参画を得て、市民公益活動の活性化を図り、それによって共働によるまちづくりを推進していくことを目的として「福岡市市民公益活動推進審議会」を設置しています。この審議会は、学識経験者・地域活動実践者・地域関係者・NPO関係者・企業関係者・市職員のそれぞれから選ばれた委員で組織されており、自分たちのまちは自分たちでつくるという「住民自治」の実現に向け、自治会・町内会等をはじめNPOやボランティアなどによる市民公益活動の活性化を図り、より多くの市民の参加・参画による多様な活動を推進していくために調査審議しています。審議会は平成十七年からスタートしており、これまで市長に市民公益活動に関するさまざまな提言や答申を行ってきました。検討内容や議事録などは福岡市のホームページ上で公開されており、どなたでも閲覧することができます。

大庭理事長は第3期・第4期・第5期と委員を務める市民の市民による公益活動の推進のために必要な提言を行っています。

市民公益活動の推進に係る施策について審議した第3期においては「今の社会の

中には、今あるNPOでも解決できないような問題が山ほどあると思う。環境だったり、子育てだったり、色々な部分で解決しなければならぬ課題がある。そういうのを、行政の人、NPOの人、何か世の中の役に立ちたいと思っている若い人達、みんな一緒に何かを考えるような場を作って、市民の課題を解決していきたい。新しい事業なり、NPOが生まれる機会を作る必要があると思う。」とNPO代表の委員として市民公益活動の活性化に向けた積極的な提言を行っています。

また、第4期・第5期とNPO・ボランティア交流センター「あすみん」のあり方について審議を継続して行っており、その中で「あすみん」を市民公益活動の拠点としてより有効活用していくために細かな利用ルールの協議からフロアのレイアウトまで多岐に渡る提言を行っています。第4期・第5期では市民公益活動の推進に係る基本方針の見直しについても審議されており、基本方針の1つである「市民・NPO・行政等が共に働く福岡のまち」実現にむけた提言として博多の風の活動を例に挙げ、「私のNPOは、山笠と博多のまちと子供たちの育成について活動しています。作文



コンテストをおこない、博多小学校で表彰式をしたり、山笠前に追い山コースを話しながら歩いたりする活動を通して、直接子供たちにNPOの存在や、そういう活動をしている大人がいることを知ってもらおう。それがつながっていくのかなと考えている」と発言しています。

大庭理事長は博多の町に根ざすNPO博多の風を代表して、福岡市市民公益活動推進審議会をはじめとして、様々な取り組みに参画しており、NPO博多の風はこれからも博多の町の活性化のために様々な場面で積極的に活動していきます。

あすみんとは

「明日(あす)の市民(しみん)」の思いを込めた公設民営のサポートセンターです。

福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」は市民主体のまちづくり実現のため、NPOやボランティア活動をはじめとする様々な市民公益活動の情報・交流の拠点として2002年10月に誕生しました。

福岡市が設置し、「あすみん」マネジメントグループが指定管理を行う「公設民営」のサポートセンターです。

[福岡市NPO・ボランティア交流センター] Copyright © fnvc.jp All rights reserved.

■住所 〒810-0021 福岡市中央区今泉1-19-22 西鉄天神クラス 4階

■Tel: 092-724-4801 ■Fax: 092-724-4901 ■E-mail: info@fnvc.jp

■開館時間 月～土曜 10:00～22:00 日曜・祝日 10:00～18:00 ■休館日 第4水曜日、年末年始 12月29日～翌1月3日

日の通報をみても5～6件、それに加えてもちろん通報が無い分もあるでしょうし、端から疑って電話を切ってしまう分もあるでしょうから、それらを合計するものすごい数の電話が皆さん方のお爺ちゃんやお婆ちゃん宛にかかってきているということをご認識いただければと思います。そして被害者は60歳以上が全体の約8割を占めています。このニセ電話詐欺の被害者は全体的に高齢者で、被害者が3を占めています。この女性がだまされるというのは、息子に対する愛情を逆手にとった犯罪とも言え、非常に卑劣な犯罪なわけですね。

■被害を防ぐ3つのキーワード
こういったニセ電話詐欺の被害に遭わないためにどうするかといえは、まず「騙されない力をつける」ということ。「もしも騙された人がいたら、それを周りで止めていく」と、そして「犯罪に遭いにくくするために電話を換えよう」ということです。

騙されないために、逆にどんな手口があるのかをいくつか紹介したいと思います。一番多くてオーソドックスなのが家族を装って騙す手口です。「株に失敗した」とか「会社の金を使い込んだ」、だからお金が必要、助けてほしい。これはほんの一例で本当にいろいろな口実を使ってくる。でも電話でお金があるとかなんて騙されるものは全て詐欺なんだというのを、ぜひお爺ちゃんやお婆ちゃんに伝えてあげてください。また「架空請求詐欺」というものもあります。「あなたの個人情報漏れている。これを消去するために消去費用が必要だ」といったような手口です。そして古典的なもので最近また増えてきている手口として「ATMでの選付金詐欺」があります。「医療費だとか税金を還付するから、すぐにATMに行ったら操作するように」と誘導し、指示どおりに操作すると犯人の口座にお金が振り込まれる手口です。本当に最近この手口で多くの人を騙されています。ATMでお金が返ってくることは絶対ありません! これもぜひお年寄りの方に伝えてあげてください。「電話でお金」は全て詐欺です! すぐに相談、110番していただきたいと思えます。

次は「騙された人を周りで止める」ということです。今、金融機関で高額の貯金をおろされる方には声をかけさせていたでいておられます。これでもかなり阻止をいただけており、今年も10月末で5億5000万円も止めていただけています。ですからこれが無ければ、先ほどの16億に5億円以上プラスされて、20億以上の被害が出ていることになるわけですね。それで6月に「ニセ電話気づかせ隊」という組織を県知事を頭として発足させました。みんなでニセ電話に関心を持って、もしかすると騙されているかもしれない

い、または完全に騙されている人に「あなたを騙されているよ」ということを気づかせるための取り組みを県民運動として行っています。金融機関はもとよりボランティアの方や老人クラブといったお年寄りに関わるみんなが守っていくというのが「ニセ電話気づかせ隊」です。やることは簡単です。騙されている人に声をかけて、そしてニセ電話詐欺の被害がこんなに多いんだよということをいろんなところで伝えていく、この2つです。この「ニセ電話気づかせ隊」には誰でも参加できますので興味のある方はぜひホームページをご覧ください。また皆さんには参加されないまでも家族の方への注意喚起をしっかりと行っていたいただきたいと思えます。

3つめは「固定電話の交換」です。こういった詐欺は最初で固定電話にかかってくるんです。最近ではニセ電話詐欺対策として自動録音装置が付いたものもあります。ただこれが無い場合でも普通の留守番電話で構いません。かかってきた電話をすぐにとるのではなく、必ず留守番電話にしておいて電話がかかってくる誰からかかってきたかを確認してから出る。これだけで十分効果はあります。このように電話機対策というのもしつかりやっていただきたいと思えます。

■最後に
皆さんの協力でこの「性犯罪

罪と「ニセ電話詐欺」はもつともつと防いでいくことができると思います。ぜひ今日のことを皆さんも含めてお爺ちゃん・お婆ちゃん、そして奥さんやお子さんにしっかりと伝えていただきたいと思っております。どうぞよろしく願います。

この後、県警の皆さんによるニセ電話詐欺の事例を扱った寸劇や歌の披露などがあり、会場はお話しいだいた空気には裏腹に和やかな空気に包まれました。福岡は残念ながら性犯罪やニセ電話詐欺の件数・発生率共に高い水準にあります。ただ、この改善のためには、自分のことは自分で守るという意識と行動、そして何よりも家族・地域の連携やお互いの声かけが重要であるということを再認識する機会となり、大変有意義なフォーラムとなりました。(田中 大土)



告知 第36回 NPO博多の風フォーラム 開催のご案内

■開催日時:平成28年5月14日(土) 開場:13:00/開演:13:30 ■開催場所:博多小学校「表現の舞台」

講演 ワイドFMになって変わる変わらないこと 講師 沢田 幸二氏 (KBCアナウンサー)

※ご家族、ご友人をお誘い合わせの上、ご参加ください。多数の方のご参加をお待ちしています。

報告

平成二十八年度NPO博多の風 総会

平成28年2月20日(土)開催

2月20日(土)にNPO博多の風、平成28年度総会が各担当理事および幹事の出席のもと、山口理事の司会で開催されました。「平成27年度事業報告・決算・監査報告」および「平成28年度事業計画・予算審議」、また「本年度の役員人事」について審議を行い、全ての議案について承認されました。



平成28年度 体制一覧

詳しい担当はホームページで確認できます。

◎ 顧問	◎ 監事	◎ 理事	◎ 副理事長	◎ 理事長
福田 一男	金子 俊明	大庭 信雄	因幡 敏幸	大庭 宗一
太田 勇之助	板谷 益男	松本 昭久	平井 彰	
	後郷 光信	野田 輝幸		
		野中 雅治		
		村岡 昌哉		
		中川原 謙二		
		山口 覚弘		

報告

第15回 楽文コンテスト表彰式

平成27年11月14日(土)開催

第35回博多の風フォーラムに先立ち、同日午前中には第15回楽文コンテスト表彰式が執り行なわれました。平成13年から始まったこのコンテストは回を重ねるごとに応募作品が増え、今回も福岡市内外54の小中学校から約2300作品ものご応募をいただきました。そして厳正な審査を重ね5つの賞に各賞5名ずつ、合計25



名の皆さんが受賞されることとなりました。表彰式では受賞された皆さんへの表彰に続き、各賞から代表1名ずつの皆さんに作品を読み上げていただきました。「博多祇園山笠振興会賞」を受賞した千代中学校2年の荒巻龍朗さんは「僕の大好きなこと」と題し、生後すぐから参加している博多祇園山笠についての想いを話していただきました。また「毎日新聞社賞」を受賞した和白中学校1年の吉岡心さんはペットとして飼うことになった犬の「りようま」が我が家にとってかけがえのない存在であることを楽しく文章に綴っていたいただきました。そのどれもが山笠や部活、家族など「大好きなこと」をテーマにした素晴らしい作品ばかりで、会場では受賞者の皆さんに盛大な拍手が送られました。(田中 大士)

告知

第16回 楽文コンテスト開催決定

今年も、楽文コンテストを開催します。詳しい応募期間などは、追ってチラシなどで告知させていただきます。多数の応募をよろしくお願いいたします。

告知

第15回 探訪 博多祇園山笠追山コース

平成28年6月4日(日)開催(予定)

恒例の「追山コース探訪」が今年も6月に開催されます。当番法被に身を包んだ「おししやん」達と追山コースを廻りませんか？山笠の歴史や昇手ならではの迫力ある解説など、こだけの話もとびだしますよ！



第14回の模様(平成27年6月)

賛助会員募集中

我々「NPO博多の風」の主旨をご理解いただき、活動に賛同いただける方を広く募集しています。お近くの博多の風の幹事が下記までご連絡ください。

一般会員 一口 1,000円(年間)

特別・法人会員 一口 10,000円(年間)

(一口以上、何口でもお申込みいただけます。)

お問合せ先 「NPO博多の風」広報企画(担当:山口) E-mail info@hakatanokaze.jp FAX 092-263-7188

編集後記

「失って・初めて気付く・ありがたみ」去る3月、新年度を前に結婚以来、専業主婦をしていた妻が仕事に復帰しました。私の趣味の一つが料理であり比較的家事も協力して行ってきましたが、まがいなりに「専業主婦」で家事を行ってくれていた妻が仕事を始めると家中が少々散らかってしまったり、アイロンがけが追いつかなくなったりと、改めて家を守ってくれていたんだなと感謝の気持ちが湧いてきます。そんな慌ただしさの中で今回初めて本紙の編集をさせていただきました。 「やってみて・初めて気付く・ありがたみ」これまでも原稿起こしやチャックといったほんの少しだけの手伝いはしてきましたが、いざ編集となるとそれは簡単でいけません。1歩進んで2歩下がるといった具合でなんとか編集後記までこぎつけました。何事も自分一人の力では上手くいかないものだと痛感させられると同時に仲間に対する感謝の念を抱きました。これからはより多くの人に博多の風を感じて頂けるように、仲間と家族と「協働」してまいります。(大浦 晴彦)

~NPO博多の風 ホームページ~



書籍購入の紹介ページもあります。



NPO博多の風の最新情報はホームページに掲載。内容は随時更新中です。設立趣意書や定款などもまとめております。

URL http://hakatanokaze.jp